

総合振興計画 基本構想
土地利用構想の見直しについて

土地利用構想

(1)土地利用方針

●地域価値を高める土地利用

本市では、本庄駅周辺や児玉駅周辺を中心に市街地が形成され、市民生活の中心的地域となっています。また、本庄早稻田駅周辺地域においては、若い世代を中心に人口が増加し、良好な市街地が形成されています。

少子高齢化の進展に伴う人口減少社会を見据え、安全・安心で快適な暮らしができるよう、まちなか再生などにより賑わいや利便性を高めるとともに、防災機能など生活環境の向上につながる土地利用の誘導に努めます。また、地域の歴史や文化の継承、景観の維持を図りながら観光資源として活用を図ることにより、地域価値の向上に努めます。

●持続可能な都市を支える土地利用

児玉工業団地や本庄いまい台産業団地などの産業基盤は、本市における活発な産業活動を支えています。本市が持続可能な都市であり続けられるよう、交通の要衝としての利便性を活かした生産・加工・流通等の産業機能や観光機能の集積等、地域経済と雇用を支える土地利用の誘導に努めます。

●田園環境と調和した土地利用

本市では、北部や中央部をはじめとして豊かな農地が広がっています。農業はこれまで本市の地域産業としての役割を果たすとともに、郷土を特徴づける景観や文化を生み出してきました。緑豊かな生活環境と郷土の個性が継承されるよう、農地の保全を図るとともに、農地と生活環境とが調和した土地利用の誘導に努めます。

●恵まれた自然環境と共生した土地利用

本市は、南西部に豊かな森林や里山を抱えるとともに、北部には利根川が流れるなど、多様性に富んだ自然環境を備えています。本市の生態系を支えているこうした自然環境に対しては、保全と適正な管理に努めるとともに、自然環境を活用する場合には生態系を損なうことがないよう、自然環境と共生した土地利用の誘導に努めます。

(2)土地利用構想のゾーン区分

●快適市街地形成ゾーン

市民が安心して快適に暮らせる市街地の実現を目指すゾーンです。必要な都市基盤の整備や、防災施設及び生活関連施設の充実を図るとともに、歴史的・文化的な環境への配慮に努めます。また、本庄駅周辺、児玉駅周辺及び本庄早稲田駅周辺を拠点とした魅力と活力ある商業・業務地や良好な住宅地の形成を創出します。

●産業集積ゾーン【新設】

産業の集積を図り、本市の地域経済と雇用を支えるゾーンです。既設の工業団地では、周辺環境との調和に配慮しながら生産環境の維持に努め、本市の経済を牽引する工業地の維持及び形成を図ります。

●発展創出ゾーン

本市が持続可能な都市であり続けるため、地域活力の新たな創出を図るゾーンです。関越自動車道本庄児玉インターチェンジ周辺や国道 17 号本庄道路周辺など、交通の利便性が良く産業立地のニーズが高い土地においては、農業施策との調整等を図りながら、本市の将来を持続的に支える多様な機能の誘導を目指します。

●田園環境調和ゾーン

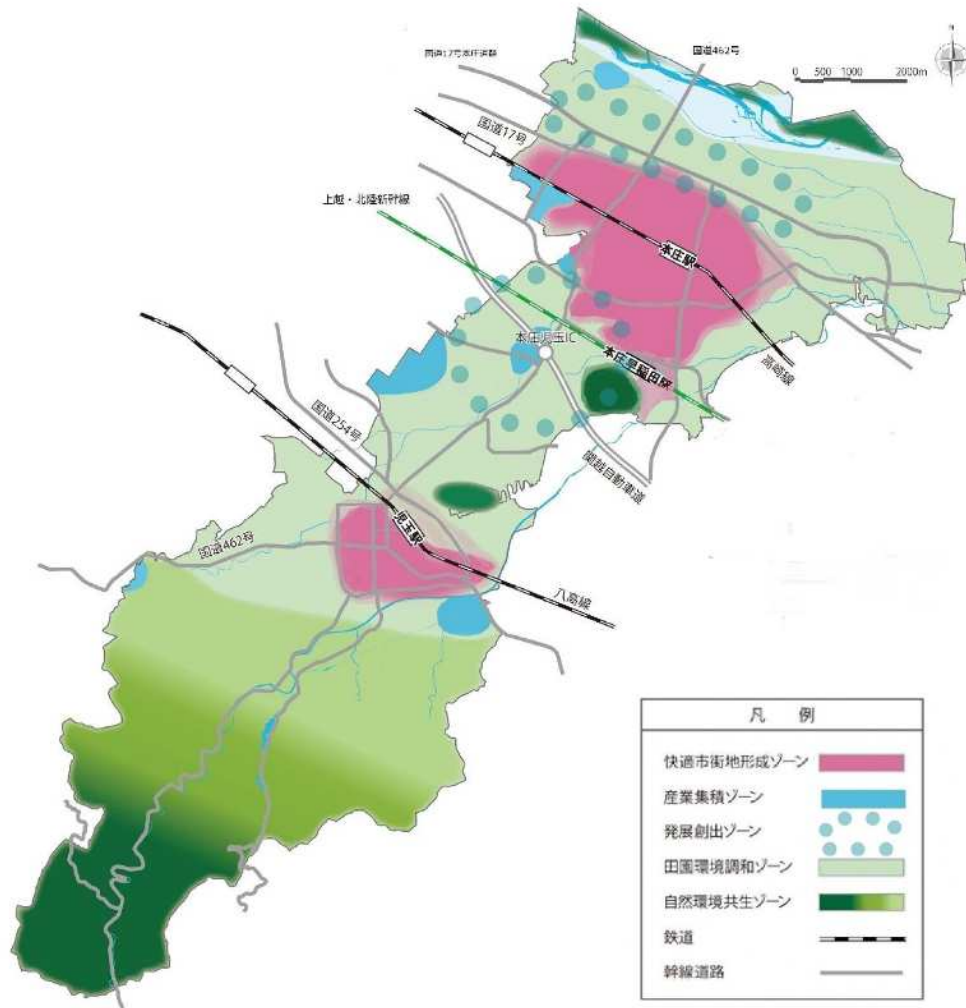
優良農地を保全するとともに、快適な生活環境と農地の調和を図るゾーンです。新たな土地利用のニーズに対しては、農地との調和を原則としながら地域特性に応じた適切な土地利用の誘導を図り、良好な田園環境の維持に努めます。

●自然環境共生ゾーン

自然環境の保全と共生を目指すゾーンです。森林・里山・河川などの自然環境の保全に努めることを原則とします。多面的機能を備える自然環境について、教育や余暇等の目的で活用する場合には、生態系に対する十分な配慮に努めます。

土地利用構想図

【見直し後】



【見直し前】

